

# 令和6年度成田市学力調査の結果について【小学3年生】

## 【成田市学力調査・実施概要】

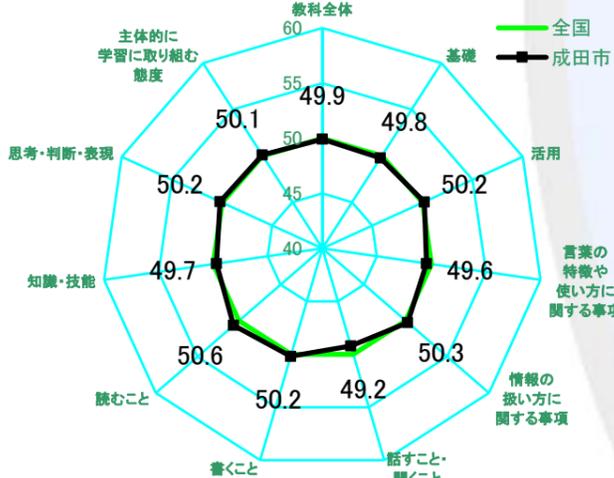
- 1 実施日 令和6年12月4日・5日
- 2 実施教科 国語、算数、理科

なお、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることに留意願います。

※本調査における全国(国)とは、国内の全小中学校のうち、本市と同じ問題を実施した児童生徒の平均正答率を示します。

## 2 教科ごとの状況

### (1) 国語 (全国の正答率を50とした相対値)



### 【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
4(1)	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。<物語の内容を読み取る>	67.6	60.5
7	内容の中心を明確にし、自分の考えを書いている。<文章を書く>	80.7	77.1
③	自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いている。<文章を書く>	72.2	71.2
④			

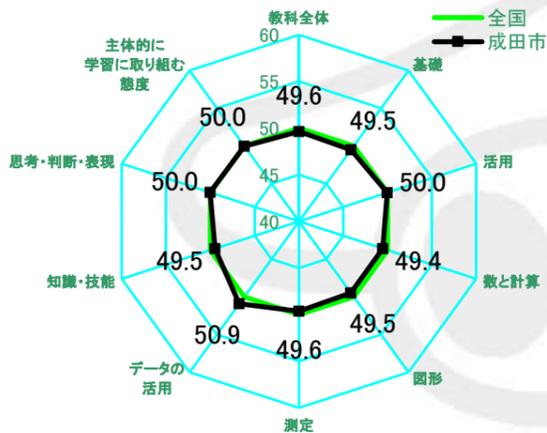
### 【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
1(3)	司会の役割を果たしながら話し合い、意見の共通点に着目している。<話し合いの内容を聞き取る>	36.3	41.3
3(2)	様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。<言葉の学習>	26.2	30.9

### 【国語・力を入れた学習】

司会は、話し合いがまとまるように、お互いの意見の同じところや違うところに気を付けて、考えをまとめてみましょう。様子や行動、気持ちや性格を表す言葉を増やすために、日ごろから読書をしたり、分からない言葉は辞書で調べたりし、実際に話や文章の中で使ってみましょう。

### (2) 算数 (全国の正答率を50とした相対値)



### 【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
9	400×3の計算のしかたを、100の何個分かをもちに説明している。<かけ算>	76.1	71.8
16(3)	表の値を棒グラフに表すことができる。<表と棒グラフ>	72.4	66.8

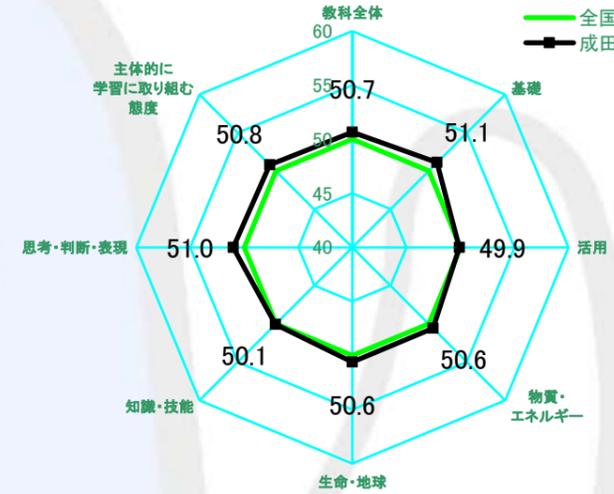
### 【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
8	余りのある除法の答えの確かめ方を説明している。<わり算>	42.8	47.7
17(2)	文章問題を解くために立式した除法の式から、あまりの処理をして、正しい答えを求めている。<わり算>	44.9	46.2

### 【算数・力を入れた学習】

授業の中で得た考え方をを使って、他の場合も当てはまるのかを試したり、同じように説明したりする学習を取り入れてみましょう。また、あまりの大きさはわる数よりも小さくなることに気をつけ、あまりのあるわり算をくり返し練習することが大切です。

### (3) 理科 (全国の正答率を50とした相対値)



### 【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
3(1)	モンシロチョウの飼育方法を理解している。<こん虫の育ち方>	68.6	60.8
7(1)	実験の条件をもとに、結果を推測できる。<光のせいしつ>	84.3	75.1

### 【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
5(2)	車を指定された位置で止めるための方法を、推測できる。<風やゴムのはたらき>	25.9	39.7
5(3)	実験結果から、ゴムのはたらきの特徴を分析できる。<風やゴムのはたらき>	61.9	74.0

### 【理科・力を入れた学習】

実験の結果をもとに決まりを見つけ、「こうだったらどうなるだろうか?」というように、実験をしなくても結果を予測できる力を伸ばしましょう。結果から「あ!」と気付くことを大切にしましょう。

## <わり算の答えのたしかめ方>

うなりくんが、17÷3の計算をしたら、答えが「5あまり2」になりました。そこで、この答えが正しいかどうかを、次のようにたしかめました。

### うなりくんのたしかめ方

3×5+2を計算して、その答えが17になるかどうかをたしかめます。



### 17÷3の答えが正しいかどうかは、次のようにたしかめられます。

$$17 \div 3 = 5 \text{ あまり } 2$$

$$3 \times 5 + 2 = 17$$

1つ分 × いくつ分 + あまり = 全部の数

次に、38÷4の計算をしたら、答えが「9あまり2」になりました。

「うなりくんのたしかめ方」を使って、同じようにせつ明してみよう!

